

5月の司書在館日

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

★黄色は司書がいます。司書がない日は図書委員が昼休みに開館します。

図書館利用案内

- 開館日時
 - ・平日 13:00~16:50
 - ・昼休み (図書委員による開館)
 - ・司書不在日は昼休みのみ開館
- 貸出冊数 1人3冊
- 貸出期間 2週間
- ※開館予定は変更することがあります。
- ※図書館のマナーを守りましょう。
- ※返却期日を守りましょう。
- ※本は自宅に持ち帰って読むことができます。

4月の来館者数・貸出
 来館者数 282名(開館日数10日)
 貸出冊数 350冊

~おしらせ~

昨年度、学級文庫の回収の際に個人のものと思われる本が多くありました。しばらく図書館内に置いておいておきますので心当たりのある人は5月末日までに取りに来てください。

5月(皐月)です。先月の末に SDDs の寄贈本が届きました。

その中の1冊に『マンガで分かる世界の名著』という本がありました。「100分 de 名著」というテレビ番組の制作チームが作った本です。12冊の名著を、1冊につき約10ページの文章とマンガで紹介しています。興味をひかれたのは、ヴィクトール・E・フランクルという精神科医が、アウシュビッツ収容所の日々を書いた『夜と霧』です。(『夜と霧』は公共図書館にあります。)「人間は何らかのつながりの中で生きている。…そして自分ではない誰かから生きがいを得ている」という言葉が印象的でした。今年度の読書感想文コンクール課題図書である『アーニャは、きっと来る』(マイケル・モーパーゴ)も第二次世界大戦が舞台の本です。1つの作品だけでなく、関連する作品を広く読むと物語の理解が深まるかもしれませんね。『アーニャは、きっと来る』はまだ本郷台中学校にはありませんが、夏休み前には購入予定です。興味がある人は公共図書館で早めに予約して読みましょう。



『アーニャは、きっと来る』マイケル・モーパーゴ 2020 評論社 933



『マンガでわかる世界の名著』NHK「100分 de 名著」制作班 2020 SBクリエイティブ 028



『夜と霧』ヴィクトール・E・フランクル 2002 みすず書房 946



🌸SDGs の寄贈本が届きました🌸

今月、新しい本が入りました。SDGs の寄贈本 56 冊です。

SDGs というのは Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の頭文字をとって「エスディーゼズ」と言います。国連に加盟している 193 国が 2016 年から 15 年かけて、17 のゴール (目標) を達成します。あと残り 10 年です。

17 の目標は独立するものではなく、互いに重なる部分が多くみられます。例えば、「4 質の高い教育をみんなに」の目標を達成することは、「1 貧困をなくそう」や「2 飢餓をゼロに」の目標を達成することにもつながっています。また、「8 働きがいも経済成長も」にかかわってきます。

日本では貧困の問題について「国が支援すべき」「どちらかという支援すべき」と答えた人が 56% だそうです。この数字は先進国の中で最下位だそうです。どのようなことが関係しているのでしょうか。SDGs の本の中に答えがないか、ぜひ探してみてください。



『それでも生きる』石井光太
2020 筑摩書房 720 どのような理由で少年兵となったのか。兵士として戦う子どもたちの現実を知ることができます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

『統計から見えてくる世界のミライ』井田仁康 2020 学研プラス 350
ビッグマックの値段が一番高い国は？
A スイス
B アメリカ
C イギリス



『捨てられる食べものたち』井出留美
2020 旬報社 611
冬場の生卵の消費期限は何日？
A 3 日
B 57 日
C 108 日

※正解は本を読んで探してください